

村々の水田を潤した農業用水の取り入れ口 酒匂堰取入口跡



足柄大橋工事中に発掘調査された時の模様



酒匂堰取入口跡 (大井町生涯学習センターに移設)
町指定重要文化財 昭和46年6月8日指定



足柄大橋金手側には
取入口跡の記念碑がある。

そのうちのひとつが昭和60年(1985年)の足柄大橋工事中に見られました。取入口の水門は3連の石造りで、あわせておよそ幅4・85m、長さ7・20mありました。なお、水門取入口の石組みは、生涯学習センター敷地内に移設、展示されています。

もともと酒匂堰の取入口は、西大井と金手(足柄大橋下、わかもと製菓南西端)の3か所設置されていたと考えられていますが、どこから先に作られたかは不明です。

湘光中学校正門前を流れる酒匂堰は、酒匂川の水を取り入れて田畑を潤す農業用水路として、江戸時代初期から中期にかけて整備されてきました。昭和12(1937)年に文明用水として取入口が上流の山北町平山に移るまで、約290年間利用され、大井町から小田原市にかけて酒匂川左岸の米作りを支えてきました。

